

萬運輸の取り組み

事故を風化させない

毎月8日を「安全の日」

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）では、毎月8日を「安全の日」と定め、事故防止や安全について再確認する日としている。

安全の日にあわせて、本社から各営業所へ赴き、点呼に立ち会う。ドライバーに声をかけながら、会社からの粗品を手渡している。手渡すことには必然的にコミュニケーションが生み出されるため、いつもの点呼に新鮮さや緊張感が生まれ、安全について再確認する機会となる。



安全講習会の動画

2020年から、オリジナル映像による安全講習会をスタート。社内の事故事例などをテーマに取り上げ、安全について再確認できるオリジナルの動画を作成し、各営業所での教育に活用している。動画は営業所長も同席時に意見を交わしながら視聴。実施日に参加できなかったドライバーには個

別に視聴する機会を設けるなど100%視聴を達成するためフォローしている。さらに、上記の活動に加え、「AIDドライブレコーダー

（AIDレコー）を人身事故は0件を導入。取り組みを加速している。これらの努力が実り、事故件数は段階的に減少。車両数はほとんど変わらない中で、2018年度に21件あった事故は2022年度には3件まで減少（物損のみ事故も含む）だ。（田川侑史）

事故の内容や得た教訓、東海林社長からドライバーに向けてメッセージを一枚一枚にまごめ、安全教育に生かしている。006年の7月8日、同社のドライバーが人身死亡事故を起こしてしまいました。「安全の日」の活動を始めた。